

- あいぽーと徳島 開設20年目を迎えて 知事挨拶
- 令和8年度 第1回あいぽーと徳島研修会 高齢者の人権～孤立死防止のために、今私達にできること～
- 人権に関する児童生徒の作品受賞標語ポスター巡回展
- あいぽーとスタディ
- 新着図書・DVDのご案内
- あいぽーと徳島情報

あいぽーと徳島では、人権に関するさまざまなイベントを開催しています。



徳島県知事 後藤田 正純

徳島県立人権教育啓発推進センター(あいぽーと徳島)は、県民一人ひとりの人権が互いに尊重され、擁護される社会の実現に資することを目的に、本県における人権教育・啓発の拠点として平成19年4月28日に開設し、今年で開設20年目という大きな節目を迎えました。

開設以来、県と指定管理者が共にそれぞれの専門性や特性を活かし、人権相談や講演会・セミナーの開催、学校・企業等への講師派遣、図書・DVDなどの資料の貸し出し、人権啓発パネルの常設・特別展示など、多岐にわたる活動を行ってまいりました。

## ご挨拶

徳島県立人権教育啓発推進センター

## あいぽーと徳島 開設20年目を迎えて

近年では講演会のアーカイブ配信など、時代のニーズに即した情報発信にも取り組み、人権について県民の皆様がいつでも、どこでも気軽に学習・相談ができる環境づくりに努めております。

その結果、開設から令和7年度末までの累計利用者数は65万人を超えるに至りました。これは、あいぽーと徳島の運営を支えてくださった関係者の皆様、そして何より、熱心に参加してくださった県民の皆様の歩みそのものであり、改めて、深く敬意と感謝の意を表します。皆様の「人権尊重」への強い思いが、徳島の地に着実に「人権文化」の種をまき、豊かな緑を育てる原動力となつてくださいました。

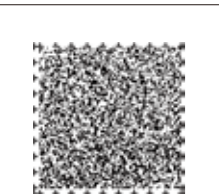
しかしながら、この20年間で社会情勢は大きく変化し、人権を取り巻く課題もまた、驚くほどの早さで多様化・複雑化しています。同和問題をはじめ、女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人に対する偏見や差別は後を絶ちません。さらに、急速に進化した情報化社会の影響による、インターネット上の誹謗中傷やプライバシー

シ어의侵害、また、多様な性的指向・ジェンダーアイデンティティに対する理解不足から生じる困難など、解決すべき課題は決して少なくありません。

課題解決には、単に知識として人権を「知る」だけでなく、正しい理解のもと、相手の痛みや喜びを自分のこととして想像する「共感の心」を持ち、それを具体的な行動へと移していくことが何よりも重要です。私たちは、開設20年目というこの節目をこれまでの成果を振り返る機会とするだけでなく、次なる10年、20年に向けた「新たな出発点」としなればなりません。

今後、あいぽーと徳島を中心に、多様性を認め合い、全体的に人々の人権が尊重され、相互に共存し得る豊かな社会の実現に向け、全力を尽くしてまいります。

県民の皆様におかれましては、今後ともなお一層の御理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



(音声コード)

あいぽーと徳島 どなたでも参加可 参加無料 申込必要 ※申込受付は前日まで

## 令和8年度 人権教育啓発リーダー養成講座(前期)



申込み  
フォーム

**第1回** 男女共同参画推進事業 パークテレコメディアフレアキャンパス講座  
(徳島県立男女共同参画総合支援センター)

**日時** 令和8(2026)年6月26日(金) 13:30~15:00

**講師** 小林 美香さん ライター/講師 (こばやし みか)

**会場** アスティとくしま 2階 パークテレコメディア「学習室」 徳島市山城町 東浜傍1-1

**演題** 広告観察を通して考えよう! ジェンダーに関わる「らしさ」はどこからきたの?

**第2回** 子どもの人権

**日時** 令和8(2026)年7月30日(木) 13:30~15:00

**講師** 坂本 拓さん 精神疾患の親をもつ子どもの会 ことどもびあ 代表 (さかもと たく)

**会場** アスティとくしま 2階 第6会議室 徳島市山城町東浜傍1-1

**演題** 精神疾患の親をもつ子どもの体験から 当事者・家族支援を考える

**第3回** インターネットによる人権侵害

**日時** 令和8(2026)年8月25日(火) 13:30~15:00

**講師** 伊藤 昌亮さん 成蹊大学 文学部 現代社会学科 教授 (いとう まさあき)

**会場** アスティとくしま 2階 第6会議室 徳島市山城町東浜傍1-1

**演題** 曖昧な弱者とその敵意 社会分断の新たな構造

**第4回** 外国人の人権

**日時** 令和8(2026)年9月18日(金) 13:30~15:00

**講師** 玉置 太郎さん 「移民の子どもの隣に座る」著者/ 新聞記者 (たまき たろう)

**会場** アスティとくしま 2階 第6会議室 徳島市山城町東浜傍1-1

**演題** 暮らしのすぐそばにある「多文化共生」のために

あいぽーと徳島 夏休み子ども体験 「ちりめんモンスタ-をさがせ」

**開催日** 令和8(2026)年7月23日(木)

**会場** イオンモール徳島1階UZUコート (徳島市南末広町4番1号)

**申込締切** 令和8(2026)年7月11日(土) 必着

**募集定員** 各回6組程度(1組4人まで)

**体験時間** ①10:15~11:15 ②13:45~14:45 ③12:00~13:00 ④15:30~16:30

●申込方法等の詳細は、あいぽーと徳島へお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

参加費 無料 申込 必要

あいぽーと徳島 第1回特別展示 平和学習 「ウクライナ 時の記録」写真展

～かつて、ここに笑顔があった。～  
～ウクライナ侵攻の前後を比較して～

**開催期間** 令和8(2026)年 7月18日(土)~8月30日(日) 10:00~18:00 (休館日:月曜日 (祝日の場合はその後の直近の平日))

**展示会場** あいぽーと徳島 展示・交流スペース 徳島市東沖洲2丁目14 沖洲マリンターミナルビル1階

入場 無料

主催・問い合わせ：あいぽーと徳島(徳島県立人権教育啓発推進センター) Tel.088-664-3719 ホームページ <https://www.aiport.jp/>

### 人権相談のご案内

あいぽーと徳島では、人権擁護委員・弁護士による人権相談を行っています。まずは電話にてご連絡ください。

**Tel.088-664-3701**

(徳島県多文化共生・人権課分室)

※相談日は都合により、変更される場合があります。

一人で悩まず  
お電話を

- 人権擁護委員による相談 第2・第4土曜日 (10:00~16:00) (12:00~13:00を除く) 面接相談及び電話相談
- 弁護士による相談(要予約) 第1・第3金曜日 (13:00~16:00) 面接相談
- 弁護士によるインターネット上の人権侵害相談(要予約) 偶数月の 第2金曜日 (13:00~16:00) 面接相談

[編集・発行]

## あいぽーと徳島

徳島県立人権教育啓発推進センター  
指定管理者 特定非営利活動法人 徳島ヒューマンネット

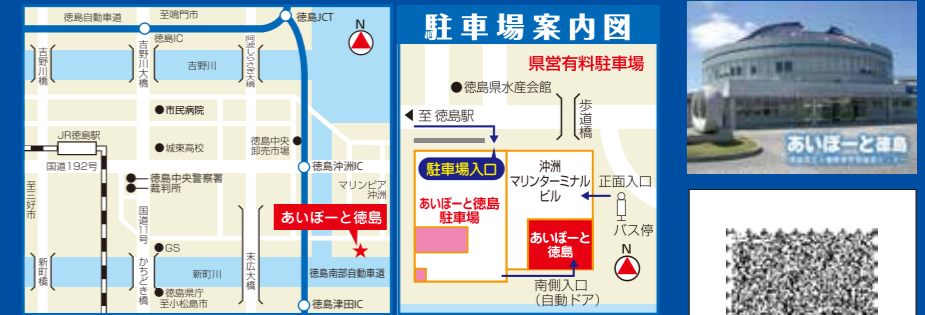
〒770-0873 徳島市東沖洲2丁目14 沖洲マリンターミナルビル内  
Tel.088-664-3719 Fax.088-664-3727  
E-mail: info@aiport.jp

あいぽーと徳島 検索 <https://www.aiport.jp>

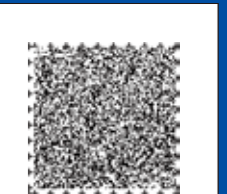
●開館時間/午前10時から午後6時まで

●休館日/月曜日(祝日の場合はその後の直近の平日)・年末年始(12月29日から1月3日まで)

●公共交通機関のご案内 JR徳島駅前から徳島市営バス⑥番のりば・徳島バス【中央市場線】に乗車し、[沖洲マリンターミナル]にて下車。



**駐車場案内** お車を利用の場合、ビル西側駐車場の「あいぽーと徳島」と表記のある赤いコーンの場所に駐車してください。満車の場合は、ビル北側の**県営有料駐車場**をご利用ください。●3時間まで200円



(音声コード)

高齢者の人権  
孤立死防止のために、  
今私達にできること

講師：速水 靖夫さん  
はやみ やすお  
特定非営利活動法人孤立防止センター理事長  
令和8(2026)年4月22日開催

支え合って生きる地域を  
見守りで実現する

私どもは福岡市の事業として「見守りダイヤル」という業務を受託しています。これは福岡市で孤立死ゼロを目指して平成25年8月12日から始まった「見守り推進プロジェクト」という事業のひとつで、二人暮らしの高齢者宅で急に新聞がたまり出した」など、近隣住民の異変に気づいた際の連絡先として機能しており、公的な機関としては非常に珍しく24時間365日休みなしで市民の方々からのご相談を受けて安否確認を行っています。

「障がい者の家族がいるけど親がいるから大丈夫」「高齢者の夫婦世帯だけど2人で住んでいるから大丈夫」「高齢者の一人暮らしだけど近くに家族が住んでいるから大丈夫」とは言い切れません。こういった方々も地域住民の連絡から命を助けられる結果となる可能性も多くあり、事実このような事例を私は約4000件近く経験してまいりました。

近年、少子高齢化の進行や社会経済状況の変化を受けて、福祉課題の複雑化や多様化、深刻化が進む一方、地域におけるつながりの希薄化による孤立死が社会的な問題になっています。見守り活動とは住民同士がつながり合うきっかけであり、共に支え合って暮らしていくことができる地域づくりを進めていく上で、身近かつとても重要な取り組みです。

人を遠ざける  
セルフネグレクト

見守り活動というのは、実はそんなに難しいことではなく、先ほど挙げた新聞の例をはじめ、昼夜電気がつきっぱなし、朝起きたら必ず開けているカーテンがしばらく閉まったまま、電話や訪問しても応答がないなど、高齢者や単身者の生活習慣をたつた点見るだけで異変に気付くことができます。

高齢者向けのサービスや地域のふれあいサロンなど、他者との関わりが多い人ほど、亡くなったとしても早期発見

なぜそういった人に支援の手が届かないのか。それは訪問しても「来るな」と拒絶され、人がどんどん遠のいていくからです。その矢先に体調を崩して、そのまま誰にも気づいてもらえずに亡くなっていく、これがセルフネグレクトの結末なんです。

セルフネグレクトに陥っている人たちは体や住環境が不衛生な方が多いとお話ししましたが、必ずしもそうとは限りません。

散髪をしない、入浴をしない、汚れた衣類のまま生活している、金銭管理が行えない、必要な医療や介護サービスを拒否する、自身の生命や健康に必要な治療やケアを放棄する、家に閉じこもり外出しない、近所との付き合いを持たない、訪問しても応答しない、周囲の支援を拒否する…など、こういった特徴が一つでも当てはまる場合はセルフネグレクトの疑いがあると考えてください。

大切にしたい  
3つの心

私がこの「見守りダイヤル」の事業を始めた当初、このよ

うな状況になるのは「本人が他人との縁を切ってしまったのだから仕方ない」と思っていました。しかし、昔は現金で納めていた家賃や電気、ガス、水道代が最近では銀行の自動引き落としになるなど、便利になる反面で人との関わりが少なくなった世の中が起これてしまった事故だ、と考えるようになりました。

全国の孤独死・孤立死の数は2024年で7万6千人、さらに今後の予想として2040年には年間20万人に達すると言われています。7割がセルフネグレクトが要因で亡くなっているとされていますから、セルフネグレクトを未然に防ぐことができれば、孤独死や孤立死も減らすことができるはずです。

セルフネグレクトの方には、必ずその人と強いつながりを持つキーパーソンがおられます。もし皆さんの地域でセルフネグレクトの方がおられれば、ぜひその方に関わるキーパーソンを見つけてみてください。

孤立死防止のために今私たちにできること、それは見守りに必要な3つの心を持つていただくことです。周囲に目を向ける目配りの心、相手のことを考える気配りの心、いつで



されやすくなります。逆に、死亡から発見までの日数が長くなるケースでは、そのほとんどが室内にゴミが散乱している、汚れた衣類のまま生活している、医療や介護を拒否するといった、いわゆるセルフネグレクトの状態にあります。私たちの経験則ではありますが、社会から孤立した状態で亡くなり死後しばらく発見されない孤立死状態になるのは50〜70代の男性に多い傾向があります。死後発見が遅れるのも大体7〜8割が男性です。その理由として挙げられるのは、男性はそれまでの人間関係が職場のみというパターンが多く、退職後には人付き合いがほとんど無くなるからです。ましてや妻に先立たれると、自分がこれから何を指して生きていけばよいのかと人生に絶望してしまうようです。

も手を差し伸べる心配りの心。そして家族を愛し、人と関わって多くのお友だちを作ってください。自分に何かあった時、誰かが必ず手を差し伸べてくれます。「困った時はお互い様」です。いつでもSOSを出せる環境づくりや地域づくりを目指してください。

講師プロフィール 速水 靖夫 (はやみ やすお)さん

特定非営利活動法人 孤立防止センター 理事長

大阪生まれ。44歳の時、孤立死・自殺・事件現場などの亡くなられた方の部屋の清掃をする「特殊清掃会社」を起業し、以後数百件もの清掃や遺品整理に携わる。実際に悲惨な現場を目の当たりにし驚愕すると共に、ご遺族の方々の悲痛な声を聞いてきた。これらの経験を生かすため「NPO法人孤立防止センター」を設立。現在、福岡市から「見守りダイヤル」業務を受託し、住民の孤立死が疑われる異変に気付いた場合に通報を受け、現場での安否確認等を行っている。



人権に関する児童生徒の作品受賞標語ポスター巡回展

昨年12月に発表しました「令和7年度人権に関する児童生徒の作品」の受賞作品の中から、標語ポスター(県内各学校から応募のあった27,295作品より受賞した作品)を身近な場所で鑑賞していただけるように県内各所で展示会を開催しています。

展示会場	展示期間
マルナカ脇町店(美馬市)	令和8年 5月21日 ~ 5月28日
ホテル千秋閣(徳島市)	令和8年 6月 2日 正午~ 6月30日
あいさい広場(小松島市)	令和8年 7月 3日 ~ 7月 8日(予定)
フジグラン北島(板野郡)	令和8年 7月 3日 ~ 7月 9日(予定)
フレスポ阿波池田(三好市)	令和8年 7月 9日 ~ 7月23日(予定)
ハローズ津乃峰店(阿南市)	令和8年 7月10日 ~ 7月16日(予定)
フジグラン石井(名西郡)	令和8年 7月11日 ~ 7月16日(予定)
イオンモール徳島(徳島市)	令和8年 7月23日10時~16時30分(予定)

あいぽーとスタディ

あいぽーと徳島にて、施設見学と人権学習をされました。



▲令和8年3月18日  
奈良県下市町  
人権教育推進協議会のみなさん

新着図書・DVDのご案内

人権啓発・学習に関する図書・DVDを入荷しました。ご利用下さい。令和8年度青少年読書感想文全国コンクール課題図書(貸出用)を7月上旬に入荷する予定です。※所蔵する図書・DVD等は、ホームページで検索できます。

DVD  
見上げれば  
社会におけるひきこもりと人権  
～誰もが支え合える社会の実現をめざして～  
制作:東映株式会社  
脚本:山上梨香  
監督:田口一  
企画:兵庫県  
(公財)兵庫県人権啓発協会  
企画協力:兵庫県教育委員会

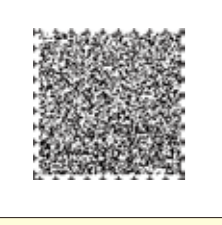
DVD  
職場の力を育む  
人権シリーズ  
「無自覚」に気付く!  
～誰もが当事者  
職場のハラスメント～  
制作:東映株式会社

DVD  
カミングアウト  
～落とし穴に  
陥らないために～  
②児童生徒の  
カミングアウトに  
向き合う  
<教員向け>  
監督:日高典晴  
(宝塚大学看護学部教授)

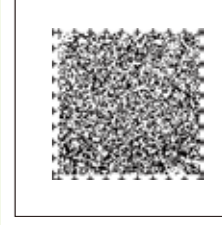
DVD  
ネット時代の  
落とし穴  
現代の部落差別  
から考える  
制作:株式会社 映学社  
監修:一般社団法人山口県  
人権啓発センター  
事務局長 川口泰司

DVD  
職場の力を育む  
人権シリーズ  
ハテナを  
分かち合い、  
カラフルを  
分かち合う  
制作:東映株式会社

図書  
いいね!  
ボタンを押す前に  
ジェンダーから見る  
ネット空間とメディア  
著者:李美淑 田中梨子  
小島麻子 浜田敬子  
治部れんげ 林香里  
白河桃子 山本恵子  
出版:亜紀書房



(音声コード)



(音声コード)